

平成24年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	14. 国際理解促進事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	1. 社会教育総務費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額	
臨時	単独		0	3,167	0	実施計画	平成24年度	0
							平成25年度	0
							平成26年度	0
							平成27年度	0
							平成28年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		3,167
本年度当初査定額		2,965

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								3,167
本年度当初査定額								2,965

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 歴史的つながりを現代に活かし、オランダと佐倉の国際交流を推進することを目的として設立された佐倉日蘭協会の活動を支援する。佐倉とオランダの児童交流事業を中心に、市民を対象としたオランダや蘭学に関する各種事業の支援をおこなう。来年度は協会設立25周年にあたるが、単なるイベントに終わらず、過去を振り返り、今後につなげる事業をおこなうべく検討を重ね、『佐倉とオランダ』記録冊子の発行と児童絵画展の実施を計画している。</p>	<p>(事業の目的) 佐倉日蘭協会がおこなう様々なオランダ関連事業の支援をおこなうことにより、市民レベルでの国際交流や、異文化理解を推進する。</p>	<p>(事業の効果) 異なる文化や習慣に対する市民の関心や理解が深められる。蘭学を奨励して、幕末に大きな成果をあげた佐倉藩だが、大きな変革期にある現在の日本も、独自の社会システムをもつオランダからは、学ぶことが多いと思われる。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 佐倉日蘭協会の中心事業である児童交流事業にかかる経費が大きく、事業の継続が困難になりつつある。その内容や、他の事業に関しても、行き詰まりが見え、協会自体の会員数減少・高齢化等の問題もかかえている。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 来年度、協会設立25周年を迎えることもあり、協会の運営や事業について全面的に見直しをおこなっている。特に事業の成果を目に見える形にし、より広く市民に理解を得ていくための事業を、単なる記念事業に代えて共同でおこない、今後の方向性を探っていくこととした。</p>	<p>(見直しについての特記事項) 児童交流事業の費用は、円とユーロの換算レートの変動等、不確定な要素がある。『佐倉とオランダ』記録冊子の発行と児童絵画展の実施は25周年事業の中で、単に日蘭協会というだけでなく、佐倉市が主体となって進めるべきものを検討し、予算を要求している。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
11	1,062	0	1,062
12	168	0	168
19	1,735	0	1,735

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額